

人権教育だより 夏休み号

令和5年(2023年)7月19日

鹿本農業高等学校

人権教育主任 野尻 貴輝

～いじめや差別のない学校づくり～

今年度、人権教育主任、情報集約担当を務めます野尻貴輝と申します。1年間宜しく申し上げます。

さて、1学期も本日で終わりますが、いかがだったでしょうか。4月の始業式、入学式から始まり、5月には、体育大会の実施、6月には農業クラブの意見発表の県大会が八千代座や山鹿市民交流センターにて実施されました。人権教育としましては、6月、7月に各学年にて人権LHRを行いました。概要と生徒感想(抜粋)を紹介します。

【6月】1年生「身近な人のことを知ろう」…様々な日常場面での選択を考えながら、人権について学びました。

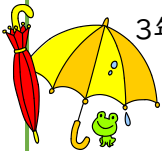
・みんなのことや自分のことを改めて知ることができたのでよかったです。

2年生「インターネットと人権」…SNS等によるトラブルについて、ドラマを視聴しながら考えました。

・私もよくSNSを使う時があるから、今までの生活の中で何かトラブルがきたりとかはないけど、気を抜かずにこれからも使用するルールや決まりを改めてもう一度確認して安全に使っていきたい。

3年生「ハラスメント」…パワハラやセクハラについて、動画を視聴しながら考えました。

・私はこれはハラスメントではという出来事を見たりされたりしたことがあります。その時は、本当に嫌な気持ちになったので、人に相談したりして少しでもはやく解決できたらいいなと思いました。



【7月】1年生「ハンセン病」…ハンセン病回復者の平沢保治さんの講演を動画で視聴しました。

・私が聞いて一番悲しかったのは名前を変える人がいたということです。家族がつけてくれた名前を家族を守るために変えるのはきつかつらいことだと思いました。

2年生「障がい者の人権」…実写版「聲の形」を視聴し、障がい者差別、いじめ問題を考えました。

・アニメよりドラマで見た方が間近に感じて考えさせられました。相手のことを理解して考えて接することがとっても大切だと思いました。

3年生「北朝鮮拉致問題」…アニメ「めぐみ」を視聴し、拉致問題について考えました。

・もし自分の大切な人が連れて行かれたら、たち崩れるかもしれないけど、それでも負けずに議会で戦ったひとたちのことが本当にすごいと思いました。



人権コラム「進路指導と進路保障」

3年生は、自分の進路についてよいよこぎ出す時期になりました。2年次では、統一応募用紙について学びました。きっかけとなった1976年K社差別選考事件より、高校では進路保障を考えるようになりました。それは、K社差別選考事件の結果、就職を勝ち取り、採用になった生徒全員が辞退したことに端を発します。彼らの苦しみを周りの生徒が共有できなかったことが原因でした。そこから、「言わない、書かない、提出しない」取組が始まります。自分の能力と関係ないことで、不利になる人がいないように、全員で取り組むことが大切です。

夏休み課題 ○「令和5年度(2023年度)人権メッセージ」

毎年、多くのすてきなメッセージが作られています。今年も、頑張りましょう。

提出メ切 8月28日(2学期始業式) 提出先 担任 → 野尻

